

和ゲテアマタノ文ヲ讀テケレバ、人ノ和讒也ケリト思テ止ヌ、此繼母アマリニ嬉ク思テ、イタヒケシタルモテアソビ物取具シテ文ヲ遣ケル、

シナノナルキソヂニカクルマロキ橋フミ見シトキハアヤウカリシヲ、此兒返事、

シナノナルソノハラニコソ宿ラネド皆母キバト思フバカリゾ、彼閔子騫ニ似タリ、梵網ノ文ニモ逢テ哀ナリ、一切ノ男子ハ皆我父、一切ノ女人ハ皆我母也ト、説ケルニタガハヌ心ナルベシ、アハレ成ケル心ロナルベシ、

〔夫木和歌抄二十一〕建仁二年五十首歌橋下花略○註

後鳥羽院宮内卿

玄なのちや谷のこずゑをくもにてちらぬ花ふむきそのかけはし

〔家忠日記追加〕慶長五年三月九日、去々年ヨリ信州木曾ノ棧朽損シテ、往來ノ通路自由ナラズ、同ク伊奈ノ川橋モ破損ニ及ブ間、兩所ノ橋此春奉行ニ命ジテ補繼セラル、

〔東國陣道記〕この明がたに、木曾のかけはしを渡りてのぼりけるに、月の河上にうつりてすさまじきに、霧わたりて夜のさまいへばさら也、

世中のあやうきみちもくも水のなかばにいづる木そのかけはし

〔老乃木曾越〕聞渡る梯を見て

吹風に峯の白雲横たはり立渡りぬる木曾の棧、雲も尙下に立けると聞え侍れば、昔は上の山にかゝりたるにや、

〔十三朝紀聞後光明〕慶安元年三月五日、岩野井溪建橋長七十五間、世謂木曾掛橋、

〔鹽尻十〕木曾ノ掛橋、ハ、カリノ橋、木曾の掛橋は波計ハ、カリの橋などそれと指ていふ、東は湯船澤あり洪水

には岸崩れ橋流れて、往來の障多かりしに、我尾州敬公○徳川慶安元年に大石をた、み水の障なきやうになし給へり、誠に千歳の賜物なりけり、